

## 【中学生の部】アクション・レポート部門 優秀賞

### 「なるべくゴミ拾いをしないで街をきれいにする！」

下川町立下川中学校1年 三浦 かな

私は、なるべくゴミ拾いをしないで街をきれいにする活動をしています。きっかけは、1匹のキツネでした。コロナ自粛が明けて、久しぶりにいつも通る峠を通ったら、今まで丸々としていたキツネがガリガリにやせているのに気づきました。そして、道でひかかれているキツネも見かけるようになりました。

散乱ゴミも近くに落ちていて、私は、きっとキツネ達は人間の捨てたゴミをエサにしているのだと思いました。人間の食べ残しを食べるのは、楽ですが、病気になり感染症にかかるリスクが高まります。だから、私は、キツネが本来の野生の生活に戻れるようにしようと活動を始めました。

まず、下川町の起業応援プロジェクト、森の寺子屋のメンバーになりました。年齢制限はありませんが、私が最年少でした。森の寺子屋は、やりたいことを後押ししてくれる集まりです。月一回集まって、自分が何をやりたいか、いつまでに何をしたいか発表していくので、追い込まれてやらないわけにはいかなくなります。ここで、どうやったら町からゴミが減るのか多くの意見をもらいました。そして、町中のゴミ拾いを行い、ゴミの分析をしました。まず、タバコのポイ捨てが多く、次がペットボトルです。変色した液体が入っていることもありました。それに、コンビニの袋にジュースやパンなどの空き袋を入れて捨てているゴミもありました。スモーカーの方にも登場してもらい、どうしてタバコの吸殻を捨てるのかも教えてもらいました。

写真は、お友達の馬のはなちゃんと一緒にゴミ拾いをしている写真です。

これらの結果をもとに、2種類のポスターを作りました。一つ目は、ポジティブキャンペーンで、きれいな町をありがとうというメッセージを入れました。二つ目は、英語で、protect our animals, do not feed 私たちの動物を守ろう エサをあげないでにしました。飲食店、町の施設や体験型施設に掲示をお願いしています。

一年以上が経ち、少しずつゴミが減ってきました。今は、月2回のペースでゴミ拾いをしています。最近、マスクのゴミが多くなっているのが気になります。

プラスチックやマスクは、土にかえらないでずっとそこにあります。このようなゴミを捨てないのももちろんですが、これらが土にかえっていく素材でできたら良いのと思っています。

それまで、私はポスター作りやゴミ拾いを実践していきたいと思っています。いつの日か、全くゴミ拾いをしなくて済むようになればいいと思っています。

